
消 防 団

現在、行田市には各地域から選ばれた消防団員（団長以下249名）で組織された21の分団があり、火災をはじめ各種災害から市民を守るため、日夜活動をしています。平成25年4月1日からは女性団員を任用し、火災予防啓発、救急指導活動等積極的に取り組んでおり、平成31年4月1日には活動の幅を広げるべく甲斐姫分団として独立しました。

また、行田市は利根川及び荒川を抱えており、平成28年4月1日に水防活動に特化した機能別消防団員が組織され、台風等の風水害ではいつでも出動できるよう万全を期しています。

消 防 団 の 保 有 車 両 一 覧

(令和7年4月1日現在)

	所 属	車 名	年 度	積載ポンプ 級 別	登録年月日 (交付年月日)	機装及び仕様等
団本部	団本部指揮班	ニッサン キャラバン TA-QGE25	H17		H17.8.30	指揮車
	甲斐姫分団	ニッサン NV-200 DBF-VM20	H29		H29.9.20	
中央消防隊	中央警備隊	ニッサン アトラス CBF-SQ2F24	R2	(株)シバウラ B2級	R3.3.15	埼玉消防機械(株)
	中央第1分団	日野 デュトロ TKG-XZU640M	H24	CD-I 型 A2級	H24.10.12	長野ポンプ(株)
	中央第2分団	日野 デュトロ BDG-XZU334M	H21	CD-I 型 A2級	H21.9.9	長野ポンプ(株)
	中央第3分団	日野 デュトロ BDG-XZU334M	H20	CD-I 型 A2級	H20.10.16	長野ポンプ(株)
西部方面消防隊	西部警備隊	ニッサン アトラス PDG-SZ5F24	H21	(株)シバウラ B2級	H22.3.15	総務省消防庁より貸与 救助資機材搭載型
	西部第4分団	日野 デュトロ 2RG-XZU640M	R2	CD-I 型 A2級	R3.1.27	ジーエムいちはら工業(株)
	西部第5分団	日野 デュトロ TKG-XZU640M	H24	CD-I 型 A2級	H24.10.12	長野ポンプ(株)
南部方面消防隊	南部警備隊	ニッサン アトラス CBF-SQ2F24	H22	(株)シバウラ B2級	H23.2.25	埼玉消防機械(株)
	南部第6分団	日野 デュトロ BDG-XZU334M	H18	CD-I 型 A2級	H19.2.16	小池(株)
	南部第7分団	日野 デュトロ BDG-XZU334M	H18	CD-I 型 A2級	H19.2.16	小池(株)
北部方面消防隊	北部警備隊	ニッサン アトラス CBF-SQ2F24	H19	(株)シバウラ B3級	H19.12.20	(株)モリタ
	北部第8分団	日野 デュトロ TKG-XZU640M	H24	CD-I 型 A2級	H25.3.1	長野ポンプ(株)
	北部第9分団	日野 デュトロ BDG-XZU334M	H22	CD-I 型 A2級	H23.3.4	長野ポンプ(株)
	北部第10分団	日野 デュトロ BDG-XZU334M	H19	CD-I 型 A2級	H20.2.14	長野ポンプ(株)
	北部第12分団	日野 デュトロ SKG-XZU640M	H23	CD-I 型 A2級	H24.1.10	長野ポンプ(株)
東部方面消防隊	東部警備隊	ニッサン アトラス CBF-SQ2F24	H24	(株)シバウラ B2級	H24.10.25	埼玉消防機械(株)
	機動第1分団	日野 デュトロ 2RG-XZU640M	R4	CD-I 型 A2級	R5.2.24	ジーエムいちはら工業(株)
	機動第2分団	日野 デュトロ TPG-XZU640M	H30	CD-I 型 A2級	H31.3.13	ジーエムいちはら工業(株)
	東部第11分団	日野 デュトロ TPG-XZU640M	H30	CD-I 型 A2級	H31.3.27	小川ポンプ工業(株)
	防災学習車	トヨタ ハイエース 3BF-TRH226K	R2	(株)シバウラ D1級	R3.2.2	日本消防協会より寄贈 防災学習車

保有の内訳

指揮車…………… 1台
 広報車…………… 1台
 防災学習車…………… 1台
 消防ポンプ自動車…………… 14台
 可搬消防ポンプ積載車 …… 5台
 計 22台

消 防 団 庁 舎 概 要

(令和 7 年 4 月 1 日現在)

(単位: m²、千円)

分 団 名	庁舎の所在	建物面積	完成年月日	総工事費	建物の構造	敷地面積	摘 要
団本部指揮班	本丸 1-1	55.48	H10.4.2	13,912	木造2階建	112.22	敷地を中央第3分団と共用
甲斐姫分団	忍 2-1	42.50	S58.9.28	11,539	軽量鉄骨造平屋建	59.90	H31.3 改修 4,495 千円含む
中央警備隊	中央 11-15	53.82	S52.12.17	7,827	木造2階建 モルタル外壁	45.84	H27.3 改築 3,467 千円含む
中央第 1 分団	行田 5-1	65.40	S46.3.8	3,755	木造2階建 モルタル外壁	48.28	H19.3.改築 1,975 千円含む
中央第 2 分団	佐間 1-10-4	67.91	S46.12.21	4,890	木造2階建	72.60	H20.2 改築 2,940 千円含む
中央第 3 分団	本丸 1-1	72.87	H10.4.2	13,912	木造2階建	112.22	敷地を団本部 指揮班と共用
西部警備隊	城西 4-3-2	70.34	H26.3.27	29,190	木造平屋建	289.12	
西部第 4 分団	皿尾 400	62.10	S53.12.13	8,723	木造2階建 モルタル外壁	260.11	H28.3 改築 3,623 千円含む
西部第 5 分団	押上町 2-10	70.93	H6.12.13	14,935	木造2階建 モルタル外壁	111.93	
南部警備隊	埼玉 334-4	76.18	H23.2.25	20,244	木造平屋建	550.03	
南部第 6 分団	堤根 686-1	76.18	H4.3.13	16,686	木造2階建 モルタル外壁	480.67	
南部第 7 分団	野 891-4	57.96	S53.9.27	6,750	木造2階建 モルタル外壁	244.10	H21.2 改築 2,100 千円含む
北部警備隊	斉条 3172	76.18	H24.3.12	19,044	木造平屋建	578.00	
北部第 8 分団	荒木 2092	72.87	H22.3.30	17,371	木造平屋建	271.05	
北部第 9 分団	須加 4621	76.18	H20.3.28	22,113	木造平屋建	384.61	
北部第 10 分団	北河原 1536	63.72	S48.1.31	3,603	木造平屋建	123.90	H20.12 増改築 2,653 千円含む
北部第 12 分団	南河原 869-1	81.00	S53.6.27	10,092	軽量鉄骨平屋建	603.00	H30.10 改修 5,712 千円含む
東部警備隊	下須戸 1252	57.96	S53.9.27	9,822	木造2階建 モルタル外壁	156.96	H29.2 改修 4,122 千円含む
機動第 1 分団	桜町 3-7-36	74.52	S53.5.12	9,128	木造2階建 モルタル外壁	65.00	H30.1 改修 4,428 千円含む
機動第 2 分団	藤原町 2-26-3	66.24	S55.3.31	8,579	木造2階建 モルタル外壁	198.00	H24.3 改築 2,299 千円含む
東部第 11 分団	真名板 1190-1	70.93	S60.4.5	12,379	木造2階建 モルタル外壁	260.70	H28.3 改築 4,489 千円含む

消防団出動区分表

方面隊	分 団 名	担 当 区 域	一次出動	二 次 出 動	三次出動
団本部	指揮班	全 市 域	特に必要があるとき		
	甲斐姫分団				
中央消防隊	中央警備隊	中央消防隊担当区域全域	特に必要があるとき		
	第1分団	旭町、行田、中央、宮本、栄町、谷郷1・2・3丁目、大字谷郷(吹上を除く)大字和田、大字白川戸の一部	中央1	指揮班、中央警備隊、機動1、中央1・2・3、西部4、北部8・12	全分団出動 南部残留
	第2分団	佐間1・2・3丁目、大字佐間天満、向町、緑町	中央2	指揮班、中央警備隊、機動1、中央1・2・3、西部5、南部6	全分団出動 北部残留
	第3分団	忍1・2丁目、大字忍、本丸、城西1・2丁目、城南、水城公園駒形1丁目のうち旧大字持田、駒形2丁目、矢場1・2丁目	中央3	指揮班、中央警備隊、機動1 中央1・2・3、西部4・5	全分団出動 東部残留
西部方面消防隊	西部警備隊	西部方面隊担当区域全域	特に必要があるとき		全分団出動 東部残留
	第4分団	大字上池守、大字下池守、大字皿尾大字中里、大字小敷田、持田1丁目大字持田のうち菅谷、藤之宮、城西3・4・5丁目、権現堂、竹の花、大字谷郷のうち吹上	西部4	指揮班、北部10・12 西部4・5、中央1・2・3	
	第5分団	持田2・3・4・5丁目、大字持田(菅谷、藤之宮、権現堂及び竹の花を除く)大字前谷、深水町、西新町、押上町棚田町1・2・3丁目、壺里山町清水町、門井町1・2・3丁目	西部5	指揮班、西部警備 西部4・5、中央1・2・3、南部6	
南部方面消防隊	南部警備隊	南部方面消防隊担当区域全域	特に必要があるとき		全分団出動 北部残留
	第6分団	大字下忍、大字樋上、大字堤根駒形1丁目のうち旧大字下忍	南部6	指揮班、南部警備 南部6・7、中央1・2・3、西部5	
	第7分団	大字埼玉、大字渡柳、大字利田大字野	南部7	指揮班、南部警備 南部6・7、機動1・2、中央2、東部11	
北部方面消防隊	北部警備隊	北部方面消防隊担当区域全域	特に必要があるとき		全分団出動 南部残留
	第8分団	大字荒木、大字小見、大字斉条大字白川戸(一部除く)	北部8	指揮班、北部警備 北部8・9・10・12、機動1・2、中央1	
	第9分団	大字下中条、大字須加	北部9	指揮班、北部警備 北部8・9・10・12、機動1・2、西部4	
	第10分団	大字北河原、大字酒巻	北部10	指揮班、北部警備 北部8・9・10・12、中央1・3、西部4	
	第12分団	大字南河原、大字犬塚、大字馬見塚大字中江袋	北部12	指揮班、北部警備 北部8・9・10・12、中央1・3、西部4	
東部方面消防隊	東部警備隊	東部方面消防隊担当区域全域	特に必要があるとき		全分団出動 西部残留
	機動第1分団	桜町1・2・3丁目、大字長野、長野1・2・3・4・5丁目、富士見町1・2丁目	機動1	指揮班、機動1・2 中央1・2・3、北部8	
	機動第2分団	藤原町1・2・3・4丁目 大字若小玉	機動2	指揮班、東部警備 機動2、東部11、機動1 南部7、北部8・9	
	第11分団	大字下須戸、大字小針、大字藤間大字真名板、大字関根	東部11	指揮班、東部警備 東部11、機動1・2、南部7 北部8・9	

消防団員の勤続年数

(令和7年4月1日現在、()は女性団員数)

階級 年齢	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員	機能別団員	総 数
総 数	1	2	21 (1)	21 (1)	21 (1)	37 (1)	113 (9)	33	249 (13)
1年未満							7 (2)	3	10 (2)
1年以上 5年未満							19 (2)	9	28 (2)
5年以上10年未満				1	1	2	31 (2)	21	56 (2)
10年以上15年未満			2 (1)	2 (1)	5 (1)	5 (1)	35 (3)		49 (7)
15年以上20年未満				1	3	12	14		30
20年以上25年未満			4	4	9	13	7		37
25年以上30年未満			8	8	3	4			23
30年以上35年未満		1	3	1		1			6
35年以上40年未満		1	4	3					8
40年以上	1			1					2

消防団員の年齢

階級 年齢	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員	機能別団員	総 数
総 数	1	2	21 (1)	21 (1)	21 (1)	37 (1)	113 (9)	33	249 (13)
20歳未満									0
20歳以上25歳未満							5 (3)		5 (3)
25歳以上30歳未満							4		4
30歳以上35歳未満							11 (1)		11 (1)
35歳以上40歳未満			1 (1)	1	2	1	10	1	16 (1)
40歳以上45歳未満				1	1	4	23 (2)	1	30 (2)
45歳以上50歳未満			3	2	3	11	31 (1)	8	58 (1)
50歳以上55歳未満			4	7	8	13	22 (1)	6	60 (1)
55歳以上60歳未満			4	6	5 (1)	3	7 (1)	10	35 (2)
60歳以上65歳未満		1	8	4 (1)	2	5 (1)		5	25 (2)
65歳以上	1	1	1					2	5

団員報酬額

階 級	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員	機能別団員
年 額	150,000	118,000	91,000	77,000	63,000	52,000	48,000	9,500

＜ 備 考 ＞

1. 正機関員には年額9,500円を、副機関員には年額7,500円を加給する。
2. 方面隊長の職にある分団長には年額5,500円を加給する。

荒川北縁水防事務組合所属分団

(熊谷市、行田市、鴻巣市)

分 団 名	人 数	責任者	
西部第5分団	19名	分団長	松村敏雄
南部第6分団	15名	分団長	宮本勇一
南部第7分団	17名	分団長	平野敦

行田市防災会議（水害対策）所属分団

(行田市)

方 面 隊 名	人 数	責任者	
中央消防隊	44名	方面隊長	岡安渉
西部方面消防隊	37名	方面隊長	阿部久仁弘
南部方面消防隊	42名	方面隊長	宮本勇一
北部方面消防隊	67名	方面隊長	小林邦夫
東部方面消防隊	39名	方面隊長	藤野芳夫

※ 行田市水防協議会については、水害対策の一元化を図るため、行田市防災会議に吸収統合されました。

利根川・荒川危険水位標

内 容	利 根 川	荒 川
水防団待機水位（通報水位）	0.80m	3.00m
はん濫注意水位（警戒水位）	1.90m	3.50m
避難判断水位（特別警戒水位）	3.10m	5.00m
はん濫危険水位（危険水位）	4.10m	5.50m
計画高水位	5.28m	7.50m
基準点所在地	伊勢崎市八斗島町	熊谷市榎町